



竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com ホームページ <http://yukari-0031.xsrv.jp>

鎌倉市にふさわしい図書館運営とは。

一昨年、市が示した「公共施設再編計画案」は市民から様々な問題点が指摘され修正された。その一つが、地域図書館大船・玉縄・深沢・腰越のあり方だ。当初、地域図書館を貸し出し機能のみ閲覧や読書スペースをなくすとする予定であったが、現状のままの機能を残すことになった。

しかし昨年7月、「中央館に正規職員を集約し、地域館は非常勤嘱託員を中心とする」という内容が、図書館協議会に諮問された。ところが、この諮問内容について、当事者である図書館正規職員や非常勤嘱託員に十分な説明もなく、ましてや問題点等の検討もなされぬまま諮問された事実が、今、大きな波紋を呼んでいる。

鎌倉市の地域図書館は、地域の中でよく利用されている。(表参照)これは鎌倉市特有と言ってもよく、地域図書館が地域に根付いていることの現れである。このことは市の「図書館サービス計画」の中で図書館サービスが市域全体に行き渡るようにします」との方針と合致している。今回の諮問を受けた協議会では、「計画との整合性はどうか」の諮問されても、具体的にできるかどうか分からないのに、判断できない」との意見が挙がっている。

2015年度

	中央館	大船館	玉縄館	深沢館	腰越館
貸出冊数	30%	20%	15%	19%	16%
レファレンス	27%	23%	13%	20%	17%

レファレンス…利用者の相談に応じ、情報や資料などを提供すること

カウンターの的確なレファレンスは、専門性と長年の経験の蓄積によるところが大きい。今後、正規職員がカウンターに立てなくなる問題、不安定な雇用のまま非常勤嘱託員に責任がある業務が課せられる問題等を指摘した。このままでは、地域館の弱体化は避けられない。一読者からの

鎌倉市の文化財行政は、どうなっているのか！

「北鎌倉トンネル岩塊は、壊れていても文化財的価値はある。」

—文化庁見解—

「鎌倉市の文化財行政は、一体どうなっているのか」今、多くの市民から、こんな声が挙がっている。

2月議会の教育子どもみらい常任委員会で、「北鎌倉トンネル岩塊を含む尾根を、国指定史跡に追加する調査を求める」陳情が審議されたことは、すでに「竹田ゆかり市政通信 12号」に記載した。

この陳情審査で私は「北鎌倉トンネル岩塊を含む北尾根は、重要文化財「円覚寺伽藍図」に残る貴重な景観であるから、本来ならば国指定史跡にすべきものだったのではないかと指摘した。しかし担当部局からは、「尾根は横須賀線開通工事で大きく破壊され、トンネルも掘られている。保存すべき文化財的価値はない」との答弁だった。しかし「破壊されているとしても、保存する価値がないとは言えない。朝比奈の切通しも、国の史跡として保護されているではないか」と述べさせて頂いた。しかし、本会議では残念ながら陳情は否決された。

ところが、5月24日、文化庁主任文化財調査官

が現地視察をした結果、「北鎌倉トンネル岩塊を含む尾根には文化財的価値がある。外部の専門家による委員会を設置して文化財的価値を検討すべき」との指摘を受けた。要するに、文化庁の調査官は現地の状況を見て「破壊されていても、文化財的価値がある」との判断を下したのである。

その後7月8日に開催された「外部有識者を含む文化財専門委員会」での話し合いで「国の史跡として追加指定すべきである」との見解が示された。また、「残っているものは(破壊されていても)残すのが文化財保護の基本」との意見も出された。

これまで、市がいかに専門的な見地をないがしろにしてきたかが窺える。もとを正せば2年前の「文化財専門委員会」での議論が生かされなかったことが問題である。トンネル開削ありきでことを進めてきた市は反省すべきである。

—教育大綱重点事業の推進①—

学習支援事業が始まります！ 一般質問より

今年10月から、「生活困窮者自立支援事業」として「学習支援事業」が始まる。この事業は、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子ども達の学びを支えることと合わせて、居場所の提供を通じて、生活習慣の形成・社会性の育成・生活相談・進路相談・中退防止支援などを行うものであるが、取り組み方は市によってまちまちである。

貧困家庭の子どもが抱える課題は、個々さまざまである。事業推進にあたって、「子どもの生活の背景にまで迫って、実態に合わせて柔軟に対応していくこと」を求めた。また、支援を必要とする子どもと、この事業をつなぐために、学校が果たす役割は大きいことから、学校への積極的な働きかけを求めた。

—教育大綱重点事業の推進②—

教職員が健康であることは、子どもにとっての良好な学習環境！！ 一般質問より

2013年にOECDが実施した「国際教員指導環境調査」の結果は驚くものだった。日本の教職員の労働時間が、他の国々に比べて突出して長いことがわかったのだ。(34カ国平均:38.3時間/週、日本:53.9時間/週)日本の教職員の長時間労働の主な原因は、部活動・事務作業・授業準備等に費やした時間の多さにある。

公務災害認定件数が年々減少する中、教職員の認定件数が増加していることから、学校と言う職場環境がいかに厳しい状況にあるかが分かる。このことは、鎌倉市においても例外ではない。

市は、市役所職員1400人の心身の健康を守るために、9つの安全衛生委員会を設置し、職場巡視を行い、職場の安全衛生状況の把握をしたり、職場環境の改善に努めたり、産業医面談を積極的に行っている。

しかし、鎌倉市650人の教職員のための安全衛生委員会は1つもなく、産業医面接も行われていない。(昨年実績0時間)

教職員の勤務環境を改善し、教職員が心身ともに健康であることは、結果的に子ども達にとっての良好な学習環境をつくること ↗

↘につながる。鎌倉市においても、県内他市の事例にならって、教職員の心身の健康を守るための「安全衛生委員会」の設置を早急に実施することを強く求めた。

また、教職員の事務作業の軽減を図るために、給食会計事務作業を学校現場から教育委員会に移すよう重ねて求めた。

《6月議会で採択・可決した主な内容》

採択された主な請願と陳情

- 子供たちと高齢者の歩行空間の安全を守る為、生活道路におけるあらゆる対策を講じるよう、鎌倉市に働きかけることを求める請願
- 旧横浜地方法務局鎌倉出張所跡地を保育園として施設配置の観点から早期の活用をすることを鎌倉市議会として、鎌倉市に促すことを求める請願
- 「避難所想定施設への段ボールベッド供給体制」についての陳情
- 北鎌倉駅大船側臨時改札口を改札口にして頂くための陳情
- 政務活動費が不正流用されないために Web サイトでの一般公開を行うことについての陳情

可決した主な議案

- 主な補正予算—鎌倉芸術館維持修繕料・稲村ヶ崎下水流出対応事業費など
 - (仮)由比ヶ浜こどもセンター請負契約
 - 核兵器なき世界の実現を求める意見書の提出
 - ◎北鎌倉隧道が所在する尾根の文化財的価値の公正な検証を求める決議
 - ◎文化庁を初めとする日本政府等に対して北鎌倉隧道が所在する尾根の文化財的価値の検証ならびに安全対策にあたって適切な支援・助言・関与を求める意見書の提出
 - 国土交通省に対して、江ノ島電鉄の安全対策に係る江ノ島電鉄と地域住民間に生じる問題について適切な対応を求める意見書の提出
- 以上、竹田ゆかりは賛成。◎は、議案提出者



けいかほうこく



いよいよ、今年の9月から！

これまで6回にわたって一般質問を続け、更に、市民の方から陳情を挙げて頂いたり、署名をして頂いたたおかげで、いよいよ、今年の9月から、御成中・腰越中・深沢中・手広中・岩瀬中・玉縄中の6校の子ども達が、空調の効いた教室で学習することができるようになります。

来年の9月は、第一中・第二中・第一小・第二小・御成小・稲村ヶ崎小に空調が入る予定です。

＜お知らせ＞ 市政へのご意見、ご要望、ご相談、いつでもお受けします。ご連絡ください。